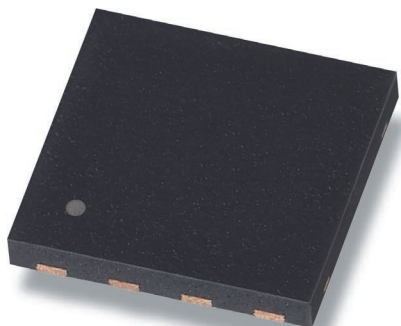


RC-S500/3V



AES暗号方式およびDES暗号方式に対応したリーダー向けFeliCa™ SAMチップです。本製品を使用することで、さまざまな機器や用途でFeliCaのセキュリティ機能を利用できます。RC-S500/SO2とは形状違いで、RC-S500/SO2と同等機能¹⁾を基板に実装したいお客様向けの製品です。

1) FeliCaポケット機能を除く

*画像はイメージです。実際の商品とは一部異なる場合がございます。

RC-S500/SO2
と機能互換¹⁾

AES
対応

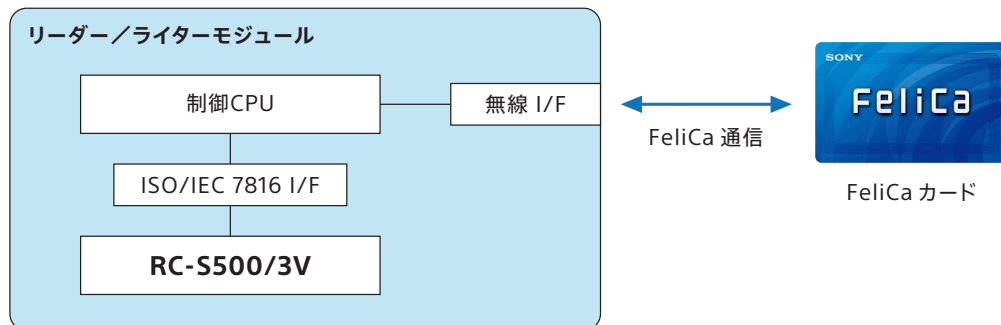
FeliCa
Standard SD2
対応

特長

AES/DESの標準暗号化方式に対応

本製品はAES/DES暗号方式に対応したリーダー向けFeliCa SAM (Secure Application Module) です。AES暗号方式およびDES暗号方式のFeliCaカードに対して、セキュアにアクセスするために必要な機能を提供します。リーダー/ライターモジュールの基板に実装して使用することで、FeliCaのセキュリティ機能を使用したシステムを開発できます。

RC-S500/3Vを用いたリーダー/ライターの構成例



RC-S500シリーズの基板実装製品

RC-S500/SO2と同等機能²⁾を基板に実装したいお客様向けの製品です。

2) FeliCaポケット機能を除く

高セキュリティ・高速処理

本製品は、コモンライテリア (ISO/IEC 15408) EAL5+を取得したセキュリティICチップに、弊社製のセキュア実装されたソフトウェアを搭載しています。セキュリティICチップ内に暗号アルゴリズムを搭載し、鍵を格納することができます。これにより、高セキュリティなシステムの構築が可能です。

また、本製品は、リーダー/ライター端末との通信において、最大1.25 Mbps (入力クロック10 MHz時) の高速通信を実現しました。高速な処理が求められるシステムでもご利用いただけます。

FeliCa Standard SD2 対応

FeliCa Standard SD2のコマンド体系を搭載

FeliCa Standard SD2で搭載されている新規機能に対応

* FeliCa Standard SD2 : FeliCa Standard製品のうち、AES暗号対応した第2世代ICチップおよびその搭載製品

主な機能

	RC-S500/3V
通信	ISO/IEC 7816-4に準拠した Command/Response APDUでのコマンド送受信
セキュリティ	リーダー/ライター端末とRC-S500/3V間の暗号通信 FeliCaカードとRC-S500/3V間の暗号通信
鍵管理	FeliCaカードのシステム、エリア、サービス鍵およびグループ鍵の管理
FeliCaカードアクセス	FeliCa Standardカードとの相互認証 カードコマンドパケットの暗号化 カードレスポンスパケットの復号 カードレスポンスのタイムアウト時間の計算 パッケージ生成 グループ鍵生成 FeliCa Lite-Sカードとの認証 FeliCa Lite-SカードとのMAC付き読み出し/書き込み

製品仕様

	RC-S500/3V	
外部インターフェース/通信方式	ISO/IEC 7816準拠 (T=1プロトコル)	
入カクロック	1~10 MHz	
通信速度	最大1.25 Mbps (入カクロック10 MHz時)	
使用環境 (結露、氷結のないこと)	-25 °C~+85 °C	
不揮発性メモリー	書き換え耐性	10 万回
	最大鍵登録数	512 (システム/エリア/サービス鍵/MACつきサービス鍵、DES/AES合計) 32 (グループ鍵、DES/AES合計)、32 (FeliCa Lite-S鍵)、32 (FeliCaセキュアIDカード鍵)
電源電圧	ISO/IEC 7816 ClassA (5 V)、ClassB (3 V) に対応	
外形寸法	約4.2 mm × 4 mm	

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●ソニー、SONYおよびFeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。●FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。●その他、本カタログに記載されているシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。

ソニー株式会社

セキュアテクノロジー&ソリューション事業部 営業部

東京都品川区大崎2-10-1 ソニーシティ大崎 〒141-8610

FeliCaウェブサイト

sony.co.jp/felica/

カタログ記載内容 : 2023年10月

J2022-01-02